

令和 4 年 度
公立大学法人三重県立看護大学
業務実績報告書 資料 目次

〈添付資料〉

中期目標（数値目標）に対する実績一覧・・・・・・・・・・・・・・・・	1
中期目標（数値目標）に対する未達成項目について・・・・・・・・	2

〈補足資料〉

【21101】

入学者選抜方法の点検 参考データ・・・・・・・・・・・・・・・・	3
令和7年度三重県立看護大学入学者選抜について・・・・・・・・	4
多言語多文化選抜の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	11

公立大学法人三重県立看護大学中期目標(数値目標)に対する実績一覧

指標名	第三期中期目標期間								基準値	備考
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	合計			
II-1 教育に関する目標										
看護師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	98.8	
	実績値	99.0	99.0					-		
保健師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	91.6	
	実績値	96.0	98.0					-		
助産師国家試験合格率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	98.2	
	実績値	100.0	90.9					-		
看護師国家試験合格者数(人)	目標値	95	95	95	95	95	95	-	99.0	
	実績値	98	98					-		
保健師国家試験合格者数(人)	目標値	95	95	95	95	95	95	-	91.6	
	実績値	95	97					-		
助産師国家試験合格者数(人)	目標値	10	10	10	10	10	10	-	10.8	
	実績値	10	10					-		
県内就職率(%)	目標値	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0	-	51.4	県内への看護職就職者数/就職者数
	実績値	62.5	55.7					-		
修士学位取得者数(人)	目標値	8	8	8	8	8	8	-	5.6	研究科での学位取得者数
	実績値	12	10					-		
II-2 研究に関する目標										
競争的研究資金申請率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	99.3	申請(継続含む)教員数/在職教員数
	実績値	97.8	100.0					-		
外部研究資金採択率(率)	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	52.4	科学研究費補助金等の外部研究資金の採択率
	実績値	50.0	56.9					-		
III 社会・地域貢献に関する目標										
看護職者を対象とした講座等の開催数(回)	目標値	100	100	100	100	100	100	-	100	看護職者を対象とした専門講座等を開催した数
	実績値	123	130					-		
県民向け講座等の開催数(回)	目標値	96	96	96	96	96	96	-	96	県民が参加可能な講座等を開催した数
	実績値	97	131					-		
学術研究団体等のさまざまな主体の活動に参画した数(人)	目標値	48	48	48	48	48	48	-	48	県内外の学術研究団体の役員や行政等の審議会委員等に就任した教員の延べ人数
	実績値	58	63					-		
IV 大学運営に係る環境整備に関する目標										
学生アンケートにおける学生の満足度(%)	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	-	79.6	学生アンケートによる大学生活の支援に対する満足度
	実績値	97.1	96.3					-		
V 的確な業務運営の実施および業務改善に関する目標										
中期目標期間中の改善事例件数(件)	目標値	-	-	-	-	-	-	10	1.6	中期目標期間中に学生や教職員から要望を受け改善に取り組んだ事例の総数
	実績値	3	2					-		
VI 財務内容の改善に関する目標										
中期目標期間中の法人の自己収入額(千円)	目標値	-	-	-	-	-	-	143,000	165,532	中期目標期間中の授業料、入学料を除く自己収入総額
	実績値	34,872								
VII 大学教育の質保証および情報の公開・発信に関する目標										
自己点検・評価結果に基づく改善率(%)	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	-	100	前年度の課題の解決に向けての取組の実施割合
	実績値	100.0	100.0					-		
自己点検・評価の実施状況(回)	目標値	1	1	1	1	1	1	-	1	自己点検・評価の実施回数
	実績値	2	1					-		

中期目標（数値目標）に対する未達成項目について

指 標 名	令和4年度		理 由 等
	目標値	実績値	
看護師国家試験合格率 (%)	100	99.0	<p>令和4年度の看護師国家試験の合格率は、99%（99名中98名合格）であり、昨年に引き続き全国平均（96.5%）を上回った。</p> <p>令和4年度の国家試験対策は、看護師模擬試験を5回（3年次の低学年用模試を含む）実施した。卒業研究の担当教員が中心となり学生の国家試験の学習状況を確認し、指導した。模擬試験の成績不振者に対して個別指導を実施し、さらに国家試験対策ワーキング員から定期的な支援メールを送信し、学生への意識づけを行った。</p> <p>令和5年度は、卒業研究担当教員からの学生への働きかけや指導を継続するとともに、4月ガイダンスにおいて先輩が取り組んだ有効な勉強法を紹介することや講義室近くに国家試験対策用の棚を設置し情報を提示する。早期から学習を開始するよう支援し、合格率100%をめざしていきたい。</p>
保健師国家試験合格率 (%)	100	98.0	<p>令和4年度の保健師国家試験の合格率は98%（99名中97名合格）であった。昨年度の合格率（96.0%）より向上し、また全国平均（93.0%）を上回った。</p> <p>令和4年度は昨年に引き続き、看護師国家試験と保健師国家試験の学習をバランスよく取り組み、保健師国家試験対策の取組が遅れないよう意識づけを行った。専門領域の教員が補講や面談を行い、さらに保健師国家試験に関する定期的なメールを送り、学習の継続を支援した。</p> <p>令和5年度も引き続き学生の支援体制を整え、看護師と保健師の国家試験を受験するという自覚を早期から持たせ合格率100%をめざしていきたい。</p>
助産師国家試験合格率 (%)	100	90.9	<p>令和4年度の助産師国家試験の合格者は10名であったものの、合格率は90.9%（11名中10名合格）であった。</p> <p>令和4年度は助産師模試3回を実施した。さらに模擬試験を受験したい学生には別業者による模擬試験受験の機会（2回）を設けた。各模擬試験の終了後は、専門領域の教員による解説を行い知識の定着に努めた。</p> <p>令和5年度は、助産師課程の最初の科目である助産論Ⅰが開講される3年次3月より、看護師・保健師・助産師の国家試験対策に計画的に取り組む意識づけを強化する。学生個々の課題に応じた指導や助言を行い、学生が具体的な国家試験対策に取り組めるよう支援し、合格率100%をめざしていきたい。</p>

【入学者選抜方法の点検】参考データ

現行の入試制度による入学者（平成31年度以降の入学者）累積GPA平均値は次のとおり。

地域推薦入試A（4学年 110名）： 2.67

地域推薦入試B（4学年 22名）： 2.63

地域推薦入試C（2学年 9名）： 2.60

指定校推薦入試（4学年 10名）： 2.92

指定校特別枠推薦入試（4学年 6名）： 2.71

前期日程入試一般枠（4学年 181名）： 2.60

前期日程入試地域枠（4学年 20名）： 2.51

後期日程入試（4学年 41名）： 2.53

令和7年度三重県立看護大学入学者選抜について（予告）〔第1報〕

本学は県立大学として、三重県の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材育成を目指しており、平成30年3月に改訂された新学習指導要領で学んだ学生の受け入れに向けて、令和6年度に実施する「令和7年度三重県立看護大学入学者選抜」の選抜要項については、現行の要項を見直したり、新たな内容を設けたりして、以下の内容とします。

1 特別選抜

[選抜区分]

・多言語多文化選抜の新設

「多言語多文化選抜」を新設し、募集人員は若干名とします。

・指定校推薦型選抜の廃止

「指定校推薦型選抜」は、廃止とします。

[出願要件]

・出願要件の変更

「東紀州地域指定校推薦型選抜」において、「『化学基礎』と『生物基礎』の両方を履修していることに加え、『化学』及び『生物』を履修している者」を「『化学基礎』と『生物基礎』の両方を履修していることに加え、『化学』又は『生物』を履修している者」に変更します。

「東紀州地域指定校推薦型選抜」において、高大接続事業への参加は求めません。

・「学習成績の状況」の取扱いの変更

「学校推薦型選抜」、「地域推薦型選抜」、「東紀州地域指定校推薦型選抜」における「学習成績の状況」の取扱いについては、5教科を対象としていましたが、全教科・科目を対象とします。

「多言語多文化選抜」においても、全教科・科目を対象とします。

・併願についての変更

「学校推薦型選抜」と「地域推薦型選抜」の併願はできなくなります。

[選抜方法]

・選抜方法の変更

「地域推薦型選抜」の「外国語の基礎学力検査」を、「小論文（外国語の読解を含む）」に変更します。

「東紀州地域指定校推薦型選抜」において、新たに「小論文（外国語の読解を含む）」を課します。

2 一般選抜

・大学入学共通テストの利用科目の追加

「情報Ⅰ」を必須科目とします。

・大学入学共通テストの利用科目の配点の変更

「情報Ⅰ」100点における得点を、50点満点とした得点へと換算します。

・個別学力検査の配点の変更

前期日程において、外国語110点、国語又は数学110点の合計220点満点とします。

3 募集人員の変更

「指定校推薦型選抜」の廃止及び「多言語多文化選抜」の新設にともない、募集人員を変更します。

詳細につきましては、別添「令和7年度三重県立看護大学入学者選抜について（予告）の詳細」をご参照ください。

(別添)

令和7年度三重県立看護大学入学者選抜について（予告）の詳細

平成30年3月に改訂された高等学校の新学習指導要領は令和4年度に高等学校に入学する生徒から適用され、大学としては、令和6年度に実施する令和7年度入学者選抜から、同要領に基づく教育を受けた者に対する入学者選抜を行うこととなります。

新学習指導要領においては、学力を構成する特に重要な3要素を掲げており、文部科学省の通知する大学入学者選抜要項においても、これに対応した能力、すなわち①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性・協働性を適切に把握し、志願者の能力・意欲・適性等を評価することが求められています。

また、新学習指導要領においては「情報Ⅰ」が必修科目とされ、令和7年度大学入学共通テストにおいても「情報」の試験が導入されることが決定しています。

さらに、本学は県立大学として、三重県の保健・医療・福祉の向上に寄与する人材の育成を使命の一つとしています。県内住民の多様化に伴い、看護職が必要とされる場面においても、様々な言語・文化に通じた人材が求められています。

これらに対応するため、令和6年度に実施する「令和7年度三重県立看護大学入学者選抜」の選抜要項について、以下の内容とします。

1 特別選抜

[選抜区分]

・多言語多文化選抜の新設

三重県内における住民の多様化にともない、様々な背景を持つ人が看護職を必要としている状況にあることから、外国の言語・文化に通じた看護職を養成し、本学の多様性を実現するため、「多言語多文化選抜」を新設します。詳細は以下のとおりです。

【募集人員】

若干名

【出願資格・要件】

次のいずれにも該当し、三重県内の市町長又は三重県内の医療機関長及び高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者

①看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、日本語以外の母語（※）を活かして三重県内の保健・医療・福祉等に貢献する強い情熱と意欲を有する者
（※）母語とは、幼児期に最初に習得した言語である

②推薦市町又は推薦医療機関に4年以上就業する強い意志を有し、推薦市町又は推薦医療機関と卒業後に貢献する保健・医療・福祉等について十分な話し合いを行っている者

③次のいずれかに該当し、かつ令和7年3月に高等学校を卒業見込みの者

(i) 三重県内の高等学校に在学する者

(ii) 令和6年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者

- ④調査書の学習成績の状況が4.0以上である者
- ⑤高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修している者
- ⑥日本語以外を母語とし、出願時においても母語で日常会話ができることを高等学校長が確認した者
- ⑦合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

【選抜方法】

調査書・推薦書の審査（※1）、小論文（外国語の読解を含む）及び面接（※2）の結果を総合して行う。

【配点】

小論文（外国語の読解を含む）100点、面接（※2）

（※1）調査書・推薦書については、面接における参考資料とします。

（※2）面接は、表現力、主体性等を評価します。ABCの3段階評価を行い、その評価がCの場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とします。

・指定校推薦型選抜の廃止

「指定校推薦型選抜」は、廃止とします。

[出願要件]

・出願要件の変更

「東紀州地域指定校推薦型選抜」の変更内容は以下のとおりです。

【出願資格・要件】

- ・「高等学校において、『化学基礎』と『生物基礎』の両方を履修していることに加え、『化学』及び『生物』を履修している者」を「高等学校において、『化学基礎』と『生物基礎』の両方を履修していることに加え、『化学』又は『生物』を履修している者」に変更します。
- ・「本学が実施する高大接続事業に参加し、看護職者としての自身の適性について考察を経た者」を要件としては求めません。

・学習成績の状況の取扱いの変更

「学校推薦型選抜」、「地域推薦型選抜」、「東紀州地域指定校推薦型選抜」における「学習成績の状況」の取扱いは、「国語」「数学」「外国語」「理科」「『地理歴史』・『公民』」の5教科を対象としていましたが、全教科・科目を対象とします。

「多言語多文化選抜」においても、全教科・科目を対象とします。

・併願についての変更

「学校推薦型選抜」と「地域推薦型選抜」の併願はできなくなります。

[選抜方法]

・選抜方法の変更

「地域推薦型選抜」で実施する「外国語の基礎学力検査」を「小論文（外国語の読解を含む）」に変更します。

「東紀州地域指定校推薦型選抜」では新たに「小論文（外国語の読解を含む）」を課します。

【配点】

小論文（外国語の読解を含む） 100 点

※「小論文（外国語の読解を含む）」の詳細は、決まり次第お知らせします。

※特別選抜の出願要件、選抜方法の新旧対照表は、別紙1のとおりです。

2 一般選抜

・大学入学共通テストの利用科目の追加

大学入学共通テストの「情報Ⅰ」を必須科目に追加します。

・大学入学共通テストの利用科目の配点の変更

「情報Ⅰ」100点における得点を、50点満点とした得点へと換算します。

・個別学力検査の配点の変更

前期日程における個別学力検査の配点は、外国語 110 点、国語又は数学 110 点の合計 220 点満点とします。

※一般選抜における配点方法等を整理した表は、別紙2のとおりです。

3 募集人員の変更

令和7年度入学者選抜から、入学定員を以下のとおり変更します。

入学定員	選抜区分		募集人員 (令和6年度まで)	募集人員 (令和7年度から)
100名	特別選抜	学校推薦型選抜	40名 (地域推薦型選抜6名程度、指定校推薦型選抜3名、東紀州指定校推薦型選抜の2名を含む)	40名 (地域推薦型選抜6名、東紀州指定校推薦型選抜の2名を含む)
		地域推薦型選抜	6名程度	6名
		指定校推薦型選抜	3名	
		東紀州指定校推薦型選抜	2名	2名
		帰国生徒選抜	若干名	若干名
		社会人選抜	若干名	若干名
		多言語多文化選抜		若干名
	一般選抜	一般選抜 (前期日程)	50名 (一般枠45名、地域枠5名) ※一般枠には、帰国生徒選抜、社会人選抜の若干名を含む	50名 (一般枠45名、地域枠5名)
		一般選抜 (後期日程)	10名	10名 (帰国生徒選抜、社会人選抜、多言語多文化選抜の若干名を含む)

令和7年度以降の入学選抜試験（特別選抜）にかかる変更点

選抜区分	項目	旧（令和6年度入学選抜まで）	新（令和7年度入学選抜から）	
特別選抜	学校推薦型選抜	学習成績の状況	3.8以上 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史」「公民」※	変更なし 調査書上の全教科
		選抜方法	調査書・推薦書の審査、基礎学力検査、面接	変更なし
		募集人員	40名 (地域推薦型選抜6名程度、指定校推薦型選抜3名、東紀州地域指定校推薦型選抜2名を含む)	40名 (地域推薦型選抜6名、東紀州地域指定校推薦型選抜2名を含む)
	地域推薦型選抜	学習成績の状況	4.3以上 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史」「公民」※	変更なし 調査書上の全教科
		出願要件	「生物基礎」と「化学基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」又は「生物」を履修していること	変更なし
		選抜方法	調査書・推薦書の審査、基礎学力検査（外国語）【配点：100点】、面接	調査書・推薦書の審査、小論文（外国語の読解含む）【配点：100点】、面接
		学校推薦型選抜との併願	できる	できない
		募集人員	6名程度	6名
	帰国生徒選抜	出願要件・選抜方法等	変更なし	
	社会人選抜	出願要件・選抜方法等	変更なし	
指定校推薦型選抜	学習成績の状況	3.8以上 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史」「公民」※	廃止	
	選抜方法	調査書・推薦書の審査、面接		
	募集人員	3名		
東紀州地域指定校推薦型選抜	学習成績の状況	4.0以上 調査書の「国語」「数学」「外国語」「理科」「地理歴史」「公民」※	変更なし 調査書上の全教科	
	出願資格・要件（理科の履修科目）	「生物基礎」と「化学基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」及び「生物」を履修していること	「生物基礎」と「化学基礎」の両方を履修していることに加え、「化学」又は「生物」を履修していること	
	出願資格・要件	高大接続事業への参加を求める	高大接続事業への参加を求めない	
	選抜方法	調査書・推薦書の審査、面接	調査書・推薦書の審査、小論文（外国語の読解含む）【配点：100点】、面接	
	募集人員	2名	変更なし	
多言語多文化選抜	学習成績の状況	4.0以上 調査書上の全教科		
	選抜方法	調査書・推薦書の審査、小論文（外国語の読解含む）【配点：100点】、面接		
	募集人員	若干名		

※学習成績の状況の計算方法は、次による。
 {「国語」+「数学」+「外国語」+「理科」+（「地理歴史」+「公民」）×1/2}×1/5
 上記は、指定教科ごとに算出した各教科の学習成績の状況を教科名で表示。（掛け算後の数値は全て小数点以下第2位を四捨五入します。）

一般選抜における配点方法（一覧）

区分	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									
	教科	科目名等	教科	出題範囲・科目名等	試験区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	面接	配点合計
前期日程	国語	国語(必須)	外国語(必須)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 論理・表現Ⅰ 論理・表現Ⅱ	共通テスト	100	*100	100	100	100	50			550
	地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合、地理探究」 「地理総合、歴史総合、公共」、	国語 } 1教科選択 現代の国語、言語文化 (古文・漢文を除く。) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A、数学B、数学C (数Ⅰ・数Ⅱ・数A:全範囲) (数B:数列、数C:ベクトル)	個別学力検査 (注1) (注2)										
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、 「地理総合、歴史総合、公共」(再掲)			数学 } 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B・数学C」から1	計	100 *210	*100	100 *210	100	210	50	※	770
	数学	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」 から2、又は「物理」、「化学」、「生物」から1		その他										
外国語	英語(必須)													
情報	情報Ⅰ													
		[6教科6科目]又は[6教科7科目]												
後期日程	国語	国語(必須)	その他	面接	共通テスト	(注3)	*(注3)	(注4)	(注4)	100	50			750
	地理歴史	「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」、 「地理総合、地理探究」 「地理総合、歴史総合、公共」												
	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」、 「地理総合、歴史総合、公共」(再掲)			計	(注3)	*(注3)	(注4)	(注4)	100	50	※	750	
	数学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B・数学C」から1												
理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」 から2、又は「物理」、「化学」、「生物」から1													
外国語	英語(必須)													
情報	情報Ⅰ													
		[6教科6科目]又は[6教科7科目]												

<大学入学共通テストの利用教科・科目名>欄

- ・外国語については、受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績(100点満点)を2倍して200点満点とし、その得点を100点満点とした得点へと換算します。

<大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等>欄

- ・配点に*印を付してある教科は選択教科を表します。
- ・(※)「面接」は、表現力、主体性等を評価します。ABCの3段階評価を行い、その評価がCの場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格とします。
- ・(注1) 選択教科による不公平が生じないようにするため、得点調整を行う場合があります。
- ・(注2) 前期日程地域枠においては、大学入学共通テストに加え、個別学力検査3教科(外国語、国語、数学)のうち高得点の1教科の成績を利用します。
- ・(注3) 後期日程において、大学入学共通テストの国語、地理歴史、公民については、100点換算後、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とします。
- ・(注4) 後期日程において、大学入学共通テストの数学、理科の2教科については、最高得点科目の教科を200点配点とし、残りの教科を100点配点とします。

多言語多文化選抜の概要

三重県立看護大学

1 目的

三重県立看護大学では、三重県内における住民の多様化にともない、様々な背景を持つ人が看護職を必要としている状況にあることから、外国の言語・文化に通じた看護職を養成し、本学の多様性を実現するため、令和7年度入学者を対象とした特別選抜に「多言語多文化選抜」を新設します。

2 募集人員

若干名

3 出願要件・選抜方法

(1) 出願資格・要件

次のいずれにも該当し、三重県内の市町長又は三重県内の医療機関長及び高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）長が責任をもって推薦できる者

①看護学に深い関心を持ち、本学卒業後、日本語以外の母語（※）を活かして三重県内の保健・医療・福祉等に貢献する強い情熱と意欲を有する者
（※）母語とは、幼児期に最初に習得した言語である

②推薦市町又は推薦医療機関に4年以上就業する強い意思を有し、推薦市町又は推薦医療機関と卒業後に貢献する保健・医療・福祉等について十分な話し合いを行っている者

③次のいずれかに該当し、かつ令和7年3月に高等学校を卒業見込みの者
(i)三重県内の高等学校に在学する者
(ii)令和6年4月1日以前から引き続き三重県内に住所を有し、三重県外の高等学校に通学している者

④調査書の学習成績の状況が4.0以上である者

⑤高等学校において、「化学基礎」と「生物基礎」の両方を履修している者

⑥日本語以外を母語とし、出願時においても母語で日常会話ができることを高等学校長が確認した者

⑦合格した場合、本学に必ず入学することを確約できる者

(2) 選抜方法

- ・調査書・推薦書の審査
- ・小論文（外国語の読解を含む）
- ・面接

4 推薦の流れ

【令和6年度受験の場合】

日程	本学の流れ	市町・医療機関の流れ
令和6年4月	制度利用の有無を照会	制度利用の有無を回答
令和6年6月	「令和7年度入学者選抜要項」の公表 (制度利用の市町・医療機関名を公表)	被推薦者の募集開始
令和6年9月	「令和7年度学生募集要項」の公表 (出願方法等の詳細を公表)	①被推薦者の選定 ②推薦する高等学校を交えた面談実施 →推薦元の市町・医療機関に就職する強い意思を確認。
令和6年11月	入学者選抜試験を実施	③被推薦者の決定 ④推薦書作成 ⑤出願
令和6年12月	合格発表・入学手続き	
令和7年4月	入学 (4年間で看護師・保健師の国家試験受験資格を取得)	
令和11年3月	卒業	
令和11年4月	推薦元の医療機関へ就職	

5 注意事項

- ・各市町又は各医療機関において、本学卒業後の採用計画があることが前提となります。
- ・推薦者は、以下のどちらかとなります。
 - (1) 市町長及び高等学校長
 - (2) 医療機関長及び高等学校長
- ・被推薦者に関する情報共有や推薦書の作成にあたり、各市町又は各医療機関と高等学校は、事前に面談等を実施してください。
事前の面談では、本学卒業後の就業についての意思や、医療機関で活躍を期待する分野等について、十分話し合いを行ってください。